

第8期北海道総合開発計画の中間点検の進め方について

1 背景

2016（平成28）年度からおおむね2025（令和7）年度までを計画期間とする第8期目となる北海道総合開発計画（以下「第8期計画」という。）においては、「計画の推進に当たっては、「政策の企画立案→実施→評価→改善」というマネジメントサイクルに沿った効率的かつ効果的な進行管理を図り、着実に施策を推進するため、人口、経済、社会等に関する各種指標や施策の推進状況についてモニタリングを実施し、必要に応じ有識者による検討等を通じて、以後の施策推進に適切に反映する」とされている。また、「社会や時代の要請の変化を踏まえつつ、主要施策、期間等について弾力的運用又は必要に応じた見直しを図るとともに、計画策定からおおむね5年後に計画の総合的な点検を実施する。」とされており、2020（令和2）年度が当該年度に該当することから、同計画の施策の推進状況等について点検を行い、現状の課題及び今後の推進方策について整理・検討する必要がある。

2 実施体制

国土審議会北海道開発分科会に設置されている計画推進部会において、2020（令和2）年度内を目途に点検結果を取りまとめの上、分科会に報告する。

3 調査審議事項

① 第8期計画の施策の点検に関する事項

第8期計画に基づく各種施策の進捗状況を把握するとともに、同計画に掲げる3つの目標の達成状況を評価し、課題を明らかにする。

② 今後の推進方策に関する事項

近年の社会経済情勢及び上記①の点検結果を踏まえ、2021（令和3）年度以降における推進方策について検討する。

4 数値目標の審議について

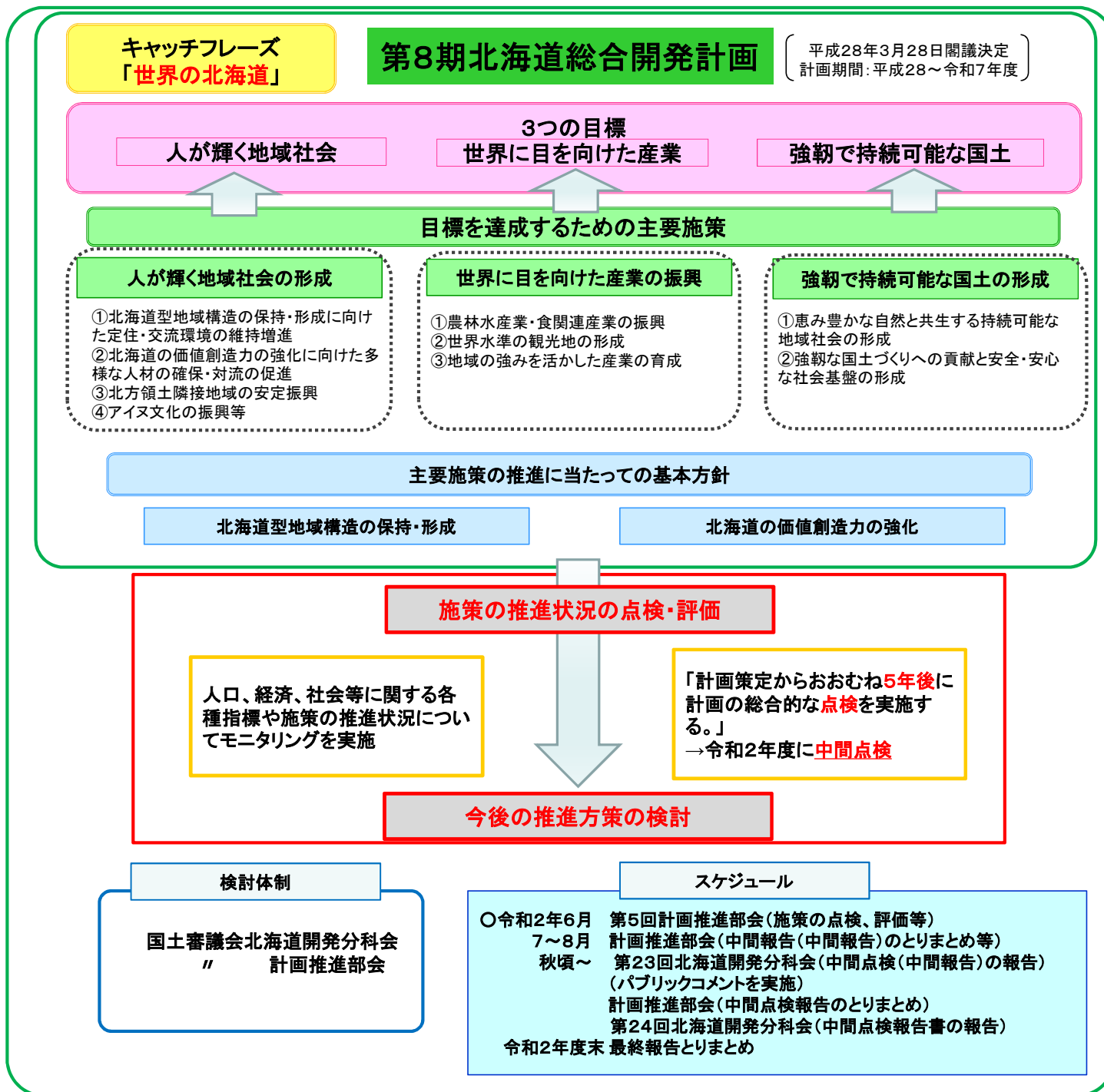
新型コロナウイルス感染症の拡大が日本のみならず世界各国の社会・経済に大きな影響を与えていることから、当面、当計画の数値目標については現目標を堅持することとし、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を分析した上で、改めて計画推進部会において数値目標について審議いただくこととしたい。

第8期計画策定時に
我が国が直面していた課題

- 人口減少・少子高齢化
- グローバル化の進展
- 大規模災害等への対応

計画策定以降における
北海道（開発）を取り巻く
状況の変化

- H28.8 北海道豪雨災害
- H30.9 北海道胆振東部地震
- R2 新型コロナウイルス感染症の拡大・緊急事態宣言等



北海道開発分科会及び計画推進部会の経緯

平成28年	3月29日	第8期北海道総合開発計画の策定（閣議決定）
平成28年	11月17日	第19回北海道開発分科会（計画推進部会の設置）
平成28年	12月14日	第1回計画推進部会
平成29年	3月10日	第2回計画推進部会
平成29年	6月6日	第20回北海道開発分科会
平成30年	6月14日	第3回計画推進部会
令和元年	6月28日	第4回計画推進部会

中間点検に係るスケジュール

令和2年	2月3日	第21回北海道開発分科会 ○調査審議事項及び実施体制の確認
令和2年	6月4日	第22回北海道開発分科会（書面による議事） ○国土審議会北海道開発分科会長の選任について
令和2年	6月15日	第5回計画推進部会 ○調査審議の進め方について ○計画の推進状況及び課題の整理 ○数値目標の評価 ○計画の目標の評価等
令和2年	7月21日	第6回計画推進部会 ○今後の推進方策の検討 ○中間点検（中間報告）骨子
令和2年	8月31日	第7回計画推進部会 ○中間点検（中間報告）のとりまとめ
令和2年	秋頃～	第23回北海道開発分科会 ○中間点検（中間報告）の報告

（中間点検（中間報告）に関するパブリックコメントの実施）

計画推進部会

○中間点検報告書のとりまとめ

第24回北海道開発分科会

○中間点検報告書の報告

令和2年度末 最終報告とりまとめ